

# 1

# 株式会社フジクラ

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国際的な基準となるGHGプロトコルのScope3基準によりScope3排出量を算定し、公開することは企業の非財務情報開示の一環として重要と考えている。</li></ul>
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDPへの回答やCSR統合報告書、ホームページを通じてバリューチェーンでの温室効果ガス排出量の情報公開を行う。</li></ul>
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>● ISO14001-2015改正により、ライフサイクル思考による自社の上流側や下流側の環境影響を考慮した活動が求められている。Scope3排出量を算定することでライフサイクルでの定量的なひとつの指標とすることが期待できる。</li></ul>
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社内関連部署よりデータを収集して品質環境管理部で算定を行う。</li></ul>

	各社の考え方
□ サプライチェーン排出量の削減に向けて	<ul style="list-style-type: none"><li>● サプライチェーンマネジメントの強化が求められてきており、お客様、調達先様とのコラボレーションによる温暖化対策を図る。</li></ul>
□ サプライチェーン排出量算定の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 海外からの調達品のCO2排出量原単位の精度向上</li><li>● 製品使用時の環境貢献シナリオ設定</li></ul>
□ その他(任意)	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope3排出量算定の正確性、妥当性、透明性、一貫性等を担保するため、第三者検証を予定している。</li></ul>

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・部品の調達量	● 3EID産業連関表ベース原単位
カテゴリ2「資本財」	● 資本財の調達金額	● SC排出原単位DB
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気・燃料等のエネルギー使用量	● CFP基本DB原単位
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	● 荷主責任の製品物流量及び調達物流量	● 電線PCR+CFP基本DB原単位
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● SC排出原単位DB
カテゴリ6「出張」	● 交通費支給額	● SC排出原単位DB
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 通勤費支給額	● SC排出原単位DB
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● Scope1,2に含まれるため算定外とした	●
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● 納入先の顧客による物流	● 電線PCR+ CFP基本DB原単位
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 半製品の販売量	● CFP基本DB原単位
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 使用時の直接排出はなく算定外とした	●
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 製品販売量	● 電線PCR+ CFP基本DB原単位
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 該当する活動がなく算定外とした	●
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当する活動がなく算定外とした	●
カテゴリ15「投資」	● 民間金融機関でないため算定外とした	●
「その他」	● オプションカテゴリのため算定していない	●

- SC排出原単位DB … サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース
- 電線PCR … 「LCAデータベースの整理」の商品種別算定基準(PCR) 2010年3月 JECTEC

## 2014年度Scope1,2,3CO2排出量の内訳

